有して、その上で何ができるか話し合っているということでしたが、ぜひこれを実践に生かして、実践につなげていただきたいと思います。

今、学校に来れない状態だとしても、こういう子供は特に将来、長井に残ってくれる貴重な戦力になるというふうに考えておりますので、ぜひそれに向けて、育てていっていただければ、支援していっていただければと思います。そのことを願いまして、私からの質問は以上で終わります。

内谷邦彦委員の総括質疑

○梅津善之委員長　次に、順位２番、議席番号８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　政新長井の内谷邦彦です。３つの項目に関して伺いますのでよろしくお願いいたします。

最初に、２款総務費、１項総務管理費、６目企画費、115ピコ水力発電調査研究事業、予算額12万円について伺います。

平成27年度採択のまち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業により開始した事業で、後発の補助事業が不採択となったが、ピコ水力発電装置の維持管理は継続とし、市内２か所で設置していると。今後、その維持管理費だけの事業になるのかどうか、地域づくり推進課長に伺います。

○梅津善之委員長　新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長　それでは、最初に、概要を説明いたしますが、ピコ水力発電研究事業につきましては、売電目的とはなかなかいきませんで、地域社会での再生可能エネルギーを活用しようという、そういった取組でございまして、名古屋大学の内山先生を代表としますピコ水力発電研究会が中心となり、河川環境が豊富な長井市をフィールドといたしまして、名古屋大学と長井市のほか、民間の企業も協力して取り組んでいるものでございます。

ピコ水力によります継続的な発電の可能性を研究するために、委員からありましたとおり、市内に２か所、長井駅前と寺泉の株式会社吉田製作所脇の水路に水車を設置しております。これにつきましては、大学の研究目的のほかに、長井市といたしましても実験の場を提供するとともに、水のまち長井を象徴するものとして取り組んでおるものでございまして、将来的に、例えば、まちなかを流れる水路での小規模な発電、それで水路脇の小道の明かりを照らすであるとか、フリーＷｉ－Ｆｉ機器の電源を取るなど、そういったところに生かしていきたいと考えております。

新年度予算の12万円につきましては、その研究に係る水車を設置しておりますので、その管理の手数料として今回計上しております。設置や修繕につきましては、大学のほうで予算を計上しておりまして、長井市のほうでは、日常的な管理につきまして、設置場所の近隣の方に点検等をお願いしているものでございます。

なお、再生可能エネルギーの自給自足であったり再可能エネルギーの循環、カーボンニュートラルにつきましては、これから進める必要はあると考えておりますので、そういった地域資源を生かした再生可能エネルギー発電がやっぱり重要になってきますので、ピコ水力より規模の大きいマイクロ水力発電の取組を今後進める必要があると考えております。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　長井市に関して言うと、そのピコ水力発電と山形県企業局所有の小水力発電、東北おひさま発電株式会社所有の小水力発電装置がありますが、岐阜県郡上市白鳥町にある石徹白という地区では、福井県との県境にある中山間地で豪雪地帯として知られ、ここで

取り組まれている水力発電の取組が今、全国的に注目を集めていると。2008年１月から実験的に導入が進み、2013年11月から２基のらせん型水車と１基の上掛水車が稼働中。現在稼働しているものの規模は、マイクロ水力発電機の中でも出力の小さなものですが、マイクロ水力発電の導入が地域の活性化の呼び水となっており、今では地域のシンボル的存在になっている。

石徹白の取組にはユニークな点が２つあり、１つは、マイクロ水力発電の導入・管理・運営を地域住民が担っているという点で、地域でできることは地域でやるという考え方で行っており、電気制御回路の製作や土木工事、日常メンテナンスなどを試行錯誤しながら行っています。自分たちが苦労しながら導入した設備ですので、自分たちで修繕することが可能で、自分たち自身でエネルギーを生み出しているという実感を持っていると。

そして、もう一つ、こちらのほうが重要なのですが、単に小水力で発電しているというだけでなく、この動きが地域の活性化につながっているという点で、小水力発電をきっかけに休眠していた地域の農産物加工施設が稼働し、そこでは地域の特産品のトウモロコシを加工することになりました。そこから新たな特産品を生み出そうとしている試みが始まっていると。実験的な設備の導入は2008年１月から開始され、実用機の導入としては2008年の11月に200ワットのらせん型水車１号機、2009年には800ワットのらせん型水車２号機を導入。ここで生まれた電力は、地元ＮＰＯ法人やすらぎの里いとしろの事務所の照明や外灯などに利用されている。ちなみに、らせん型水車は流れ込む水量が多く、落差が50センチ程度の場所に適している水車で、ごみが詰まりにくいため、メンテナンスに手がかからないというメリットがある。

石徹白は豪雪地帯ですが、水車は雪が降っても停止することなく、常に稼働を続けている。ここで取り組んでいる水力発電はいずれも水利権の取得が容易な普通河川から取水する農業用水を活用。水力発電を実施する際には水利権が課題となるケースが多かったが、河川法の改正により、今後水利権取得が容易になる地点が増えると考えられる。その際、石徹白地区のような地区の動きが全国の活動に参考になるのではないかと思います。

そして、2016年６月に年間発電電力量610ミリワットアワー、一般家庭約130世帯分、工事費２億3,000万円で岐阜県郡上市から補助金で75％を確保して、残りの6,000万円を住民が参加する協同組合「石徹白農業用水農業協同組合」の出資と借入金で賄い、完成し、稼働。住民出資の水力発電の稼働により、売電の利益だけで2,000万円前後となり、減価償却分の積立金や利払いなどを除いても数百万円残り、これを地域活性に生かしているということです。

発電に関しては、基本的に、その発電装置のタービンの羽を何で回すか、動力を何にするかの問題で、火力でも原子力でも、熱エネルギーを蒸気に変えて、蒸気でタービンを回し、風力でタービンを回せば風力発電となる。水資源に関しては、一定水量を流すことができれば永続的に発電することができ、持続可能な事業の取組としては最善ではないかと思います。

長井市に関して言うと、水資源が豊富な地域で、これと同じような取組というのはできないものなのか、総務参事に伺います。

○梅津善之委員長　竹田利弘総務参事。

○竹田利弘総務参事　お答えいたします。郡上市の状況につきましては、内谷委員からご案内のありましたとおり、豊富な水資源を生かし、小水力発電事業を実施しており、郡上市が一般社団法人新エネルギー財団の助成を受け、小水力発電事業の可能性・事業採算性評価を得て、公募により事業者を選定し、進めているようでございます。

本市におきましても、令和元年度に環境省の補助事業を受けまして、「ピコ・マイクロ水力発電を活用した長井市創生に関する協議会活動事業」として協議会を立ち上げました。メンバーは、名古屋大学、大正大学、信州大学と鶴岡工業高等専門学校、あと民間企業の株式会社リコー、日本エンヂニヤ株式会社、あと地元の株式会社吉田製作所の３社、そして、一般社団法人置賜自給圏推進機構と長井市となっております。

令和元年度の取組として、マイクロ水力発電の適地調査を実施いたしましたが、これは小水力発電事業の可能性・事業採算性評価の前段階の調査でありまして、野川土地改良区の寺泉地内の第５号幹線用水路が適地であるとの調査結果を得たところでございます。

次のステップとして、国の「小水力発電事業の可能性・事業採算性評価」という補助事業を申請しておりましたが、残念ながら不採択となり、また、コロナ禍の影響もあって、今現在は具体的な活動ができていない状況でございます。

なお、令和３年度に再チャレンジするということも今現在検討しております。野川土地改良区の平山地内の第５号幹線用水路で東北おひさま発電株式会社が事業を展開をしてることもあって、その導入時の資金調達と、あと運営管理が大きな課題となるわけでございますが、事業採算性は十分あり、民間主導でできるだろうということも考えられます。

あと、ただ、コミュニティセンターが発電事業に参入するに当たっては、具体的には、その検討はまだ今、行ってはおりませんが、やはり資金調達と運営管理、そこの面の課題というのはすごく大きく、今の段階では極めて難しいと考えております。

コミュニティセンターにつきましては、地域のマイクロ水力発電所などで発電した再生可能エネルギーを生かした地域づくり、例えば、そこで発電した電気を使ってＥＶ車やグリーンスローモビリティー、電動カートなどを走らせ、地域の交通弱者の移動支援事業ができないか、コミュニティセンターと連携し、進めたいと考えてございます。

〇梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

〇８番　内谷邦彦委員　やっぱりその地域活性化に関しては、その地域住民が主体となって活動する必要があると考えます。行政に関しては、その助言であったり提案する立場となると思うわけですが、実際にこういった水力発電のような永続的な事業というのは、当然率先して行うべきだろうと考えます。やっぱり地域から要望を待っているだけではなかなか進まないと思います。行政職員の方々が様々な情報を取ることは可能だと思いますが、このような取組を各コミュニティセンターに向けて、今まで行ってきたのかということを、まず総務参事にお伺いします。

〇梅津善之委員長　竹田利弘総務参事。

〇竹田利弘総務参事　お答えいたします。水資源を活用した事例は、これから検討したいと考えてございますが、地域課題の解決と、いわゆる収益事業、地域の活性化のためにはそういった財源も必要となります。その事例として、まずは地域有償ボランティアによる除雪サービスの事例がございます。高齢者宅の間口除雪などは、これまでは隣近所の方々が協力して、共助として、個人の除雪機械などで除雪するなどを行ってまいりましたが、そういった方も高齢化により除雪が困難になってきてる状況があるというのは委員もご案内のとおりでございます。その持続可能な仕組みとしての、地域の有償ボランティアによる除雪サービスの必要性を、やっぱり地域の方も市役所のほうでも当然感じておりました。福祉あんしん課と地域づくり推進課が連携いたしまして、他市町の事例を参考にしながら、モデル的に、当時は公民館でございまし

たが、豊田のコミュニティセンターと連携し、取り組んできました。

また、昨年10月には、ながい百秋湖まつりのときには平野コミュニティセンターと連携し、売店の出店を行って、収益事業に結びつけてきた経過がございます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　今、４番の回答のような形になりましたんで、もう後はいいです。

やっぱりその地域の活性化については、非常に難しい問題であって、何か事業を行うにしても、必ず費用負担が発生するということになると思います。一番今は、このように小水力発電だとすると、こういったことを行うことによって外灯照明の電源を確保するとか、ちっちゃいものでいいので、やっぱりそういった成功体験を積むことによって次の事業展開が開けるような形も取れるんではないかと思いますので、こういったいろんな事案をぜひ調査しながら各コミュニティセンターのほうに提言をしていただいて、よりそのコミュニティセンターの活動が活発になるような形をぜひつくっていただきたいと思いますけども、その辺はいかがですか。

○梅津善之委員長　竹田利弘総務参事。

○竹田利弘総務参事　お答え申し上げます。先ほどのご紹介しました豊田コミュニティセンターの除雪の有償ボランティアですが、今年で３年目です。今年は24回出動しております。

この横展開っていうことで、致芳コミュニティセンターのほうにも展開をいたしまして、昨年度から事業を開始して、今年は致芳のほうでも４回出られてるということです。間口除雪については、やはりここの２地区だけではなくて、ほかの地区でもあると思いますので、横展開ということで、ほかの地区にも広めていきたいなと考えてございます。

あと、もう一つ、買物支援というのもやっぱり大きな課題になっておりまして、特に伊佐沢地区は商店が少なくて、コミュニティセンターで日用品を中心に売店を設置しております。今年度、一般質問でもありましたが、いわゆる電子地域通貨「ながいコイン」を扱った実証実験、売店で使えるということでやっておりますので、コンビニがないところとか近くに商店が少ないところについては、こういったことも各コミュニティセンターに横展開したいと思います。

あと、最後になりますが、先ほど紹介しました平野コミュニティセンターでありますが、いわゆる観光地での売店、地域の活性化のためにやはり地域産品を売ったりということで、そういったものも横に展開できるものはどんどん展開していきたいと考えてございます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　よろしくお願いします。

次に、10款教育費、３項中学校費、12節委託料、105スクールバス運行事業2,684万2,000円について、学校教育課課長に伺います。

今回、委託先変更について、その委託先などから要望があったのかどうかを、まず伺います。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　お答え申し上げます。

今年度の委託先からの要望があっての変更ではございません。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　協議会での説明だと、運転手不足が予測されるという説明でありましたけども、その運転手不足が予測されるのは、何を根拠にそのような結論に至ったのかをまず教えてください。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　このたびの委託先変更についてなんですけれども、長期的な展望に立って、できる限り子供たちや学校に対してのリスクを減少させることを目的としておりまして、運転手さんが将来不足されるということのみをもって変更をお願いするものではございません。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　その長期的展望というのは、どういったことなのかを教えてください。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　長期的な展望というのは、これまでの１年ごとの入札による運行では立ち行かないときが来るのではないかということが、数年前から心配されておりました。そういうことを防ぐということでの長期的な展望というふうに捉えていただければと思います。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　その１年ごとの入札によると立ち行かなくなるのではないかというのが、要するに運転手の方々の年齢とかそういったものを見られて、今後人数が少なくなるという考え方を持たれたという考え方でよろしいんですか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　今、委員のご指摘のとおり、そのようなことも背景にはございます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　現在の委託先で何か問題が起きているということはあるんでしょうか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　今年度、大きな問題はございませんでした。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　やっぱり問題が起きてなくても、長期的展望によると、委託先を変えたほうがいいという形になるわけですね。

委託先を変更する市側のメリットで、委託料については前年より上がってますよね。経費でのメリットはないようで、運転手の不足という将来の予測だけで変更する、要するに入札ができなくなるから変更するという考え方なんですか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　委託先の変更は、経費の面だけを考えての変更ではございません。現在、長井市内に事務所を置くタクシー会社さんは３社あります。これまで入札によってスクールバスの委託先を決定しておりました。長井市の所有するスクールバスは、南北中学校、合わせて６台あります。サブのドライバーも必要となると考えると、多くのドライバーさんを確保しなければならなくて、入札で１社にお願いするというやり方では、今後、入札がうまくいかない、ドライバーを１社で確保できないなど、スクールバスの運行に支障が出るおそれがあるのではないかと、教育委員会の事務局では実は数年前から心配しておりました。

そんな中、ちょうど１年前の令和２年３月、令和２年度のスクールバス運行に関する入札を行いましたが、２回不成立となりました。もし入札が成立しなければ４月からスクールバスが運行できなくなるのではないかという状態に追い込まれていました。今後も、これまで同様の入札によって委託先を決定するやり方を続ければ、このような状況がまたいつ起こるかということが大変心配されます。入札のたびに委託先が変更となって、スクールバスの運転手が一気に替わったり、運行のやり方が変わったりすることも、子供たちや学校にとって大きな負担になると考えられます。

このような急激な変化を避けるために、そして今後も安全で安定した運行を行っていくためにも、市内にある３社で組織する長井地区ハイヤー交通協会さんのほうに運行の委託をしたいというふうに考えて、このたびの決断に至っております。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　その説明の中で、２回不成立されたという話なんですけど、不成立になった要因というのは何なんでしょう。金額の問題なんでしょうか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　金額ももちろんその要因の一つですが、そもそもこの内容で受けることが難しいという状況に陥ったということは、担当者から聞いております。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　実際、運転手、現在運転手をされている方の現状について確認などは行っているのかと。意向の打合せを行ってると思いますけども、事務系の方々の話だけでは分からないことが多いと思いますので、実際、企業では作業でも何でもそうなんですけど、こういった事務事業時、移行する場合は、実際に作業している作業者にまず直接話を聞いて問題点を洗い出すと、このような取組が必要だと思うんですけど、そういうようなことはやられたんでしょうか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　その点は丁寧に行っていきたいと考えております。現在スクールバスの運行をお願いしているのは中央タクシーさんですが、中央タクシーへの説明を10月13日に直接会社のほうに伺ってまず行いました。その後も、次年度以降のスクールバスの運行について５回にわたって、長井交通、長井地区ハイヤー協議会への説明を繰り返して行っております。

それから、スクールバスの運転手の取りまとめをしている方が南学区、北学区いらっしゃるわけですけれども、ドライバーさんの方とも直接お話をさせていただく機会を設定しております。現在、長井地区ハイヤー交通協議会でも、スムーズに移行できるようにということで、運行形態や運転手への依頼や調整、事務局の運営について調整していただいているところです。昨日も学校教育課担当者が出向いて、その説明会に参加して調整を図っているところでございます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　そのスクールバスの運行に関して言うと、やっぱり通常の路線バスの運行とかなり違いがあると思いますけども、その辺は把握されてらっしゃるんでしょうか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　路線バスとスクールバスについては、乗車の対象が小中学生ということもやっぱり大きいかなと。それだけではなくて、気象の変化や学校の状況に応じて緊急な対応をお願いする場合もあります。なので、時間が決まっている路線バスとはやっぱり運行形態はかなり違うだろうと考えています。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　一部の情報ではあるんですけど、現状のスクールバスの運転手さんの方々は、乗車する子供たちの名前を覚え、バスの車内で忘れ物をしても、誰が忘れてるのかを分かっていて、連絡を学校にしてくれると。児童の家も覚えていて、下校時には家の近くまで行って止まって下車させていると。児童の体調まで見ておられるような話を聞いてますと。このようなことが委託先を変更しても同様の対応が可能なのか。登校時より下校時に子供たちが事故に遭う機会が大幅に増えるということを考えると、このような対応は継続すべきだと思うんですけど、その辺はどのように考えますか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　ドライバーの皆さんには、子供たちのことをとても大切に思っていただいて、安全・安心な運行にご尽力いただいていることを本当に心から感謝しているところであります。今後も、子供たちの安全・安心な運行に特段のご配慮いただけるよう、繰り返しお願いしていきたいと考えております。

また、これまでも行ってきたんですけれども、南学区と北学区に分けてスクールバスの担当者会を開いております。ドライバーさん、そして学校、教育委員会での話合いの機会を設定しておりますので、委託先が変わっても同様の会議

を設定して、安心・安全なスクールバスの運行に努めていきたいと考えています。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　委託先が変われば、当然運転手が替わる時期もあると思うんですけど、そういったことに関して、子供たちからそういった意見などは聞いていらっしゃるんでしょうか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　委託先を変更することがドライバーの変更と直接今回の場合つながっておりませんので、事前に子供たちから意見を聞いたりはしていません。これまでも年度替わりのタイミングで運転手が替わったり、年度途中で替わったこともありましたけれども、事前に子供たちに聞いて対応したことはありませんでしたし、それによって混乱が生じたこともありませんでした。今回も、これまでと同様の対応を行いたいと考えております。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　委託先を変更することのメリットが、将来に向けてという理由ではあるんですけど、やっぱり今後の事務の負担が軽くなるなどの理由だけの変更では問題ではないかと個人的には考えます。委託先を変更し、運転手が替わった場合のデメリットとして、現在の運行状況と比較した場合、同様の対応がすぐには不可能だと考えられ、子供たちの安心や安全が脅かされるのではないかと。変更することを前提だとしても、今の状況を急激に変更せず、子供たちの安心・安全を確保しながら穏やかに変更することを第一に考えたほうがいいのではないかと個人的に思いますけども、その辺はいかがでしょうか。

○梅津善之委員長　目黒孝博学校教育課長。

○目黒孝博学校教育課長　学校教育課としても、急激な変更は避けたいなと考えております。今回の委託先の変更は、年度ごとに入札を行って、どのタクシー会社が落札するか分からないような、毎年ドライバーの全員が替わったり、運行方法が変わったりするような、そのような急激な変化を少しでも軽減させたいというところが狙いです。現在、長井地区のハイヤー交通協議会でもいろいろ話を進めていただいておりますが、その点を重視してほしいということをこちらのほうからもお願いしているところです。この変更ですけれども、子供たちが本当に戸惑わないように、学校が混乱しないようにという、それが第一の目的の変更でありますことを議員の皆様方にもご理解いただいて、次年度からの委託先の変更にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　ぜひ子供たちの安心・安全が最優先という形になるんでしょうし、事故が起きないように、バスで行って、いつも集合場所で降ろされて、かなり歩かなきゃならないというよりは、やはり家の近くまで乗せていってもらったほうが事故が減るんだろうと思います。そういった子供たちのことを最優先に考えていただける運転手さんが一番いいんだろうと思いますので、その辺は十分に配慮しながら行っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

　次に、２款総務費、１項総務管理費、11目諸費の中で、004地域安全推進事業で、長井小学校駅前通りに防犯カメラを設置し、防犯強化を図るとしております。昨年度の予算にも計上されていたんですが、確認のために市民課長に伺います。

　この防犯カメラに関しては、小学校もしくは地域からの要望があって設置するのかを伺います。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　防犯カメラの設置については、教育委員会あるいは各学校で取り組んでい

る通学路安全点検や、長井警察署からの要請などに基づいて設置可能性を検討して設置しておりますが、令和元年度末に設置した長井小学校付近の防犯カメラ設置については、特に長井警察署からの要請によるものです。一昨年、長井小学校の児童に対する不審者からの声かけ事案や女子高生が被害に遭うなど弱者を狙った事件が発生したことを受け、防犯カメラ設置による犯罪抑止効果向上のために要請されたものでございます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　設置台数は、一応何台になるんですか。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　防犯カメラとしては、市では８基設置しております。内訳でございますが、長井駅に１基、本町商店街の桑島記念館に１基、あと、長井小学校の十字路、日産自動車さんの信号機のところに１基、市役所の庁舎前に１基、あと、豊田小学校前の地下歩道に２基、また、屋城町の松竹会館前に１基、あと、白兎駅前に１基でございます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　長井小学校から駅前で、白兎地区とか豊田小学校ってこの事業に一緒に入ってるんですか、それちょっと確認をお願いします。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　長井市として市民課で設置している防犯カメラとしては８基ございますので、その内訳を申し上げました。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　今回の小学校から駅前に関して言うと、３基になるんですか。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　長井小学校の前の十字路に１基、あと、市役所の前に１基の２基でございます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　分かりました。

小学校と市役所の前っていうと、どの辺までカバーできるんでしょうか。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　小学校前の交差点には、１つのカメラで４つの画面が見てとれますので、その十字路それぞれの方向を映すことができます。あと、市役所前のほうは、市役所前の横断歩道をメインに、そこの角度を撮ることができます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　この予算の中で、借り上げ費用として41万円計上されてるんですけども、これ借り上げ先はどこで、購入ではなくて借り上げとした理由というのは何かあるんでしょうか。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　長井小学校前の十字路と市役所庁舎前の２基が借り上げになっており、株式会社シャープファイナンスとのリース契約になっております。同時期に設置した豊田小学校地下道、白兎駅及び松竹会館前の３か所については、下校時、一人歩きになりやすい箇所として総務省から特別交付金の対象となることから購入して設置しておりますが、長井小学校十字路と市役所前はそれが該当しませんので、一般財源となるため高額ともなりますことから、購入ではなくリース契約での導入としております。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　それで、この防犯カメラの撮った画像データを記録する媒体というのはカメラについてらっしゃるのか、それは別になってるのか、その辺はいかがなんですか。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　こちらについては、市民課の中にパソコンがございまして、そちらのハードディスクに画像データを保存する内容になっ

てございます。

○**梅津善之委員長**　８番、内谷邦彦委員。

○**８番　内谷邦彦委員**　この防犯カメラでいうと、契約上、借り上げ費用に関しては毎年発生すると考えてよろしいんですよね。

○**梅津善之委員長**　金子　剛市民課長。

○**金子　剛市民課長**　こちらについては、６年間毎年発生します。月々の支払金額を抑えるために、本来リース契約は５年間が主流であるところを６年間にして毎月の支出額を抑えております。

○**梅津善之委員長**　８番、内谷邦彦委員。

○**８番　内谷邦彦委員**　その防犯カメラに関して言うと、耐用年数は長くて６年というふうに言われてますけども、６年過ぎた場合は、また別途費用が発生して、同じようにカメラを継続して取り付けるという考え方でよろしいんですか。

○**梅津善之委員長**　金子　剛市民課長。

○**金子　剛市民課長**　そのときのカメラの状態によると思いますが、古くなって使えないものになるとすれば、更新ということになりますし、そのまま使えるとなれば、費用を抑えた形で再リースということになろうかと思います。

○**梅津善之委員長**　８番、内谷邦彦委員。

○**８番　内谷邦彦委員**　防犯カメラに関して言うと、通信料ってあるんですけど、この通信料というのは、そのカメラから市民課のハードディスクまでの通信料という考え方なんでしょうか。

○**梅津善之委員長**　金子　剛市民課長。

○**金子　剛市民課長**　通信料については、今現在４回線を使っておりまして、そこの部分について、カメラとパソコンの間のインターネット回線通信料ということになっております。

○**梅津善之委員長**　８番、内谷邦彦委員。

○**８番　内谷邦彦委員**　あと、今回使用する防犯カメラの性能に関してなんですけども、画素数とイメージセンサーのメーカーはどこになるのか、お分かりになったら教えてください。

○**梅津善之委員長**　金子　剛市民課長。

○**金子　剛市民課長**　画素数については、およそ200万画素ということになっております。カメラ本体のメーカーについては、株式会社セコニックという会社でございます。

○**梅津善之委員長**　８番、内谷邦彦委員。

○**８番　内谷邦彦委員**　あと、追加なんですけど、防犯カメラ、これ夜間撮影が当然可能で、赤外線はついてると考えてよろしいんでしょうか。

○**梅津善之委員長**　金子　剛市民課長。

○**金子　剛市民課長**　こちらについては、少ない光量で映すことができる機能でありまして、赤外線機能ということではございません。

○**梅津善之委員長**　８番、内谷邦彦委員。

○**８番　内谷邦彦委員**　夜間でも多少は見れるという考え方なんでしょうけども、あと、防犯カメラ映像というのは、常に監視しているのか、それとも事があった場合に確認するために設置してるのか、その辺はいかがなんでしょうか。

○**梅津善之委員長**　金子　剛市民課長。

○**金子　剛市民課長**　防犯・犯罪抑止効果が主な目的でございますので、常時監視はしておりません。月に二、三度程度ですが、インターネット回線の不具合や監視カメラの不具合、レンズの汚れ等の確認をしております。事故や犯罪が発生し、警察による捜査上の必要があれば映像を提供しておりますが、それ以外では閲覧、提供ができないように運用しております。

○**梅津善之委員長**　８番、内谷邦彦委員。

○**８番　内谷邦彦委員**　パソコンのハードディスクにバックアップしてるんでしょうけど、これがいっぱいになることがあると思うんですけど、その辺の切り替わりというのは、要するに最長保存期間というのは何日なのか、何か月なのかというのは分かりますか。

○**梅津善之委員長**　金子　剛市民課長。

○**金子　剛市民課長**　カメラの設置箇所や通行人数、交通量、カメラの性能を勘案し、長井警察

署からも助言をいただきまして、保存期間を２週間から１か月程度に設定しております。映像の記録は、レコーダーのハードディスク上に記録されまして、設定期間を過ぎた記録は上書きされ、自動的に消去されます。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　今回、長井小学校から駅前通りに設置してますけども、今後、市内に設置する場合の条件などは設定されてるのかどうかはいかがでしょうか。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　防犯カメラの整備計画はございませんので、設置条件等も設定してはおりません。カメラやレコーダーを設置管理する公共の施設があるのか、カメラを作動させる電源を確保できるかなどの条件がありますので、必ずしも適地が至るところにあるということではありませんが、今後、警察、学校などと連携し、必要となれば、通学時に一人になりやすい、死角になりやすい、不審者情報があるなどの場所を中心に設置を検討してまいりたいと思っています。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　防犯カメラに関して言うと、耐用年数は大体６年で、ＡＨＤ信号方式の200万画素から400万画素で、ソニー製のイメージセンサーを使用したバリフォーカルレンズ内蔵のカメラで、暗い場所では赤外線の使用が現状で選定すべくスペックというふうに言われてます。委託先のメーカーの言いなりでなくて、このような機器に関しては常に進化しておりまして、最新の情報を入手して、間違いのない適正な性能のカメラを適切な価格で依頼するように、自分で設置するとか自己費用で設置するとか、いろいろ調べるんでしょうけど、なかなか言いなりという部分が多くなると思いますので、その辺は、やっぱり調べて、何が一番いいのかということを考えながらやっていただきたいと思うんですけど、その辺はやられたんでしょうか、今後やられるんでしょうか。

○梅津善之委員長　金子　剛市民課長。

○金子　剛市民課長　機器の導入については、それぞれ業者何件かと協議しておりまして、決めてございます。ただ、このカメラについて、撮像素子というのはソニー製でございまして、セコニックが防犯カメラの専用のメーカーとお聞きしているところです。

なお、性能について、もうちょっと精査する必要があるということにつきましては、検討は十分しております。

○梅津善之委員長　８番、内谷邦彦委員。

○８番　内谷邦彦委員　やっぱり時代とともに物は進化するんだろうと思いますので、そういった情報収集は十分に行いながら、よりよい機種を選定しながら市民の安全をぜひ守っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上で質問を終わります。

鈴木富美子委員の総括質疑

○梅津善之委員長　次に、順位３番、議席番号10番、鈴木富美子委員。

○１０番　鈴木富美子委員　清和長井の鈴木富美子です。３項目について質問させていただきますので、よろしくお願いします。

初めに、２款総務費、６目企画費、011オリンピック・パラリンピック事業2,982万6,000円についてお聞きしたいと思います。

オリンピック・パラリンピックについては、平成31年の３月にも質問いたしましたが、開催が延期になった今年も、新型コロナウイルス感染症拡大によりまして開催が危ぶまれる状況が続いており、国の方針も見えない中、不安ではありますが、ホストタウン事業がアフターコロ